



シニアのひろば



【認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して】

認知症は予備群を含めると高齢者の約4人に1人と推計されており、今後、増加が見込まれます。認知症は症状が軽いうちに気づき、適切な治療を受ければ、治療の効果が期待できます。市では、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置しています。

【認知症初期集中支援チーム】

この組織は保健師、看護師、介護福祉士と認知症サポート医など、多職種の医療と福祉の専門スタッフで構成されています。
【支援対象】
市在住の40歳以上で、認知症状が疑われる方や認知症の方で次の要件のいずれかに該当する方

物忘れかな？認知症かな？と思ったら

このチェックリストは、認知症のごく初期、認知症の始まり、あるいは認知症に進展する可能性のある状態を、自分や家族などが簡単に予測できるように考案されたものです。チェックしてみましょう。



質問事項	ほとんどない	ときどきある	頻繁にある
同じ話を無意識に繰り返す	0点	1点	2点
知っている人の名前が思い出せない	0点	1点	2点
物のしまい場所を忘れる	0点	1点	2点
漢字を忘れる	0点	1点	2点
今しようとしていることを忘れる	0点	1点	2点
器具の説明書を読むのを面倒がる	0点	1点	2点
理由もないのに気がふさぐ	0点	1点	2点
身だしなみに無関心である	0点	1点	2点
外出をおっくうがる	0点	1点	2点
物(財布など)がみあたらないことを他人のせいにする	0点	1点	2点

該当する項目の数字を合計してください。 点

0～8点	正常	物忘れも老化現象の範囲内。疲労やストレスによる場合もあります。8点に近かったら、気分の違うときに再チェックしてみましょう。
9～13点	要注意	家族に再チェックしてもらったり、日を置いて再チェックをしてみましょう。認知症予防策を生活に取り入れてみたいかがでしょうか。
14～20点	要診断	認知症の初期症状が出ている可能性があります。家族にも再チェックしてもらい、結果が同じなら、主治医や高齢者支援センターに相談してみましょう。



認知症は早期診断、早期対応が大切です。「認知症かな」と思ったら、お気軽にご相談ください。

電話 23・3217
▼高齢福祉課長寿介護係

- ・認知症の診断を受けていない方
- ・医療サービスをを受けていない方
- ・介護サービスを受けていない方
- ・介護サービスを中断している方
- ・認知症の行動、心理症状が著しいため対応に悩んでいる方

【支援方法】

電話や家族との面談、訪問による支援など必要に応じてご本人やご家族の了解を得て、必要な医療、サービスなどについて話し合いを行います。
医療機関・高齢者支援センター・居宅介護支援事業所などとの連携により、「専

門医への受診」や「介護サービスの導入」につながります。

【介護者の集い】

認知症や家族介護について理解を深め、同じ悩みを抱える方同士で交流する機会として「介護者の集い」を、田原福寿園と渥美福寿園にて毎月1回開催しています。日ごろの心配ごとを少しでも軽くしてみませんか。認知症について知りたい方、家族の介護のことでお悩みの方はお気軽にお問い合わせください。